

2024年度第3四半期 決算説明資料

あしたにいいこと、
KOBELCOと。

2025年2月7日
株式会社 神戸製鋼所
証券コード 5406



- 総括
- 2024年度 需要環境前提
- 2024年度 第3四半期業績
- 2024年度 業績見通し
- 株主還元
- セグメント情報
- 参考資料

2024年度 業績見通し:前回比

- 素材系事業では、自動車生産や建材需要の減少、半導体向けの回復遅れ等により、需要環境は悪化
機械系事業では、機械は堅調な需要環境が継続し、建設機械は欧州での需要低迷が継続
- 労務費・物流費等の高騰に対する価格転嫁と共に、自助努力による一層のコスト削減を実施
- 素材系事業・建設機械での販売数量の減少はあるものの、機械・エンジニアリングにおける受注採算の改善に加えて、価格やコストの改善効果を取り込み、前回見通しを上回る利益水準を確保

今回のポイント

- 第3四半期業績は、概ね“前年同期並み”
- 年度の業績見通しは、経常損益、当期純損益を“上方修正”。ROICは6.5%程度に“改善”の見通し
- 前回比で、フリーキャッシュフローは”マイナス幅が大幅に縮小”し、有利子負債の減少を見込む
- 当期純損益について過去最高の1,300億円と見通すことから、本日の取締役会で、期末配当を55円/株に“増配”する方針を決議(年間配当は過去最高の100円/株、配当性向30.3%)

2024年度 第3四半期業績

		前年同期比
売上高	1兆8,840億円	+103億円
経常損益	1,328億円	△10億円
在庫評価影響を除く	1,303億円	△30億円
親会社株主に 帰属する四半期純損益	1,028億円	△69億円

2024年度 業績見通し

		前回比
売上高	2兆5,800億円	△200億円
経常損益	1,400億円	+100億円
在庫評価影響を除く	1,395億円	+110億円
親会社株主に 帰属する当期純損益	1,300億円	+100億円
フリーキャッシュフロー	△100億円	+600億円

財務指標
2024年度見通し

- ROIC : 6.5%程度 (前回: 6%程度)
- L ROE : 12%程度 (前回: 11%程度)
- 純資産比率 : 40%程度 (前回: 40%程度)
- グロスD/Eレシオ : 0.8倍程度 (前回: 0.85倍程度)

株主還元

- 1株あたり期末配当55円、年間配当100円の方針(前年・前回比+10円の増配)

青字は需要変動の影響を受けるユニット

自動車

(鉄鋼、アルミ板、アルミ押出、サスペンション、銅板、鉄粉、溶接)

国内は、**前回並み**

海外は、中国・北米・東南アジアでの日系自動車メーカーの販売減等により、**前回比減少**

IT・半導体

(アルミ板、アルミ鋳鍛、銅板)

HDD需要は、データセンター向けを中心に回復基調が継続し、**前回並み**

半導体関連は、需要回復の遅れにより、**前回比減少**

造船

(鉄鋼、鋳鍛鋼、溶接)

新造船受注量は引き続き堅調の一方、人手不足や機材調達難の影響等もあり、**前回並み**

航空機

(チタン、アルミ鋳鍛)

引き続き需要は堅調に推移し、**前回並み**

飲料用缶

(アルミ板)

前回並み(2023年度並み)

建築・土木

(鉄鋼、溶接)

資材高騰や人手不足による案件ずれ・案件凍結等により、**前回比減少**

(機械)

エネルギー
・化学

エネルギー(LNG等)や化学・石油化学向けの装置需要は、引き続き堅調に推移
環境関連需要は、国内外において長期的には増加基調

一般産業

国内は、引き続き堅調に推移し、**前回並み**
海外は、中国市場の減速や東南アジア経済の停滞により**需要低迷が継続**

(建設機械・油圧ショベル)

日本

建設機械の価格高騰による入替需要減の傾向が継続しており、**前回並み**

中国

政府主導での農地整備工事の牽引の動きが継続し、**前回比増加**

北米

インフラ向け需要は堅調の一方、金利の高止まりが続いており、**前回並み**

欧州

金利の高止まりによる需要低迷が想定以上に長引いており、**前回比減少**

東南アジア

一部の国で景気回復の傾向があり、**前回比増加**

2024年度 第3四半期業績

(単位:億円)	2023年度		2024年度見通し(今回)		増減 ②-①
	3Q累計 ①	通期	3Q累計 ②	通期	
売上高	18,737	25,431	18,840	25,800	+103
営業損益	1,382	1,866	1,245	1,500	△137
経常損益	1,339	1,609	1,328	1,400	△10
在庫評価影響を除く	1,334	1,564	1,303	1,395	△30
特別損益	278	13	84	150	△194
親会社株主に帰属する 当期純損益	1,097	1,095	1,028	1,300	△69

売上高

素材系事業での価格転嫁の進展や、機械でのエネルギー・化学向けの本体・サービス売上増加の一方、電力での石炭価格の下落による減少等もあり、前年同期並み

経常損益

価格転嫁の進展や機械での売上増加があるものの、固定費を中心としたコストアップや電力での燃料費調整の時期ずれによる増益影響の縮小等により、前年同期並み

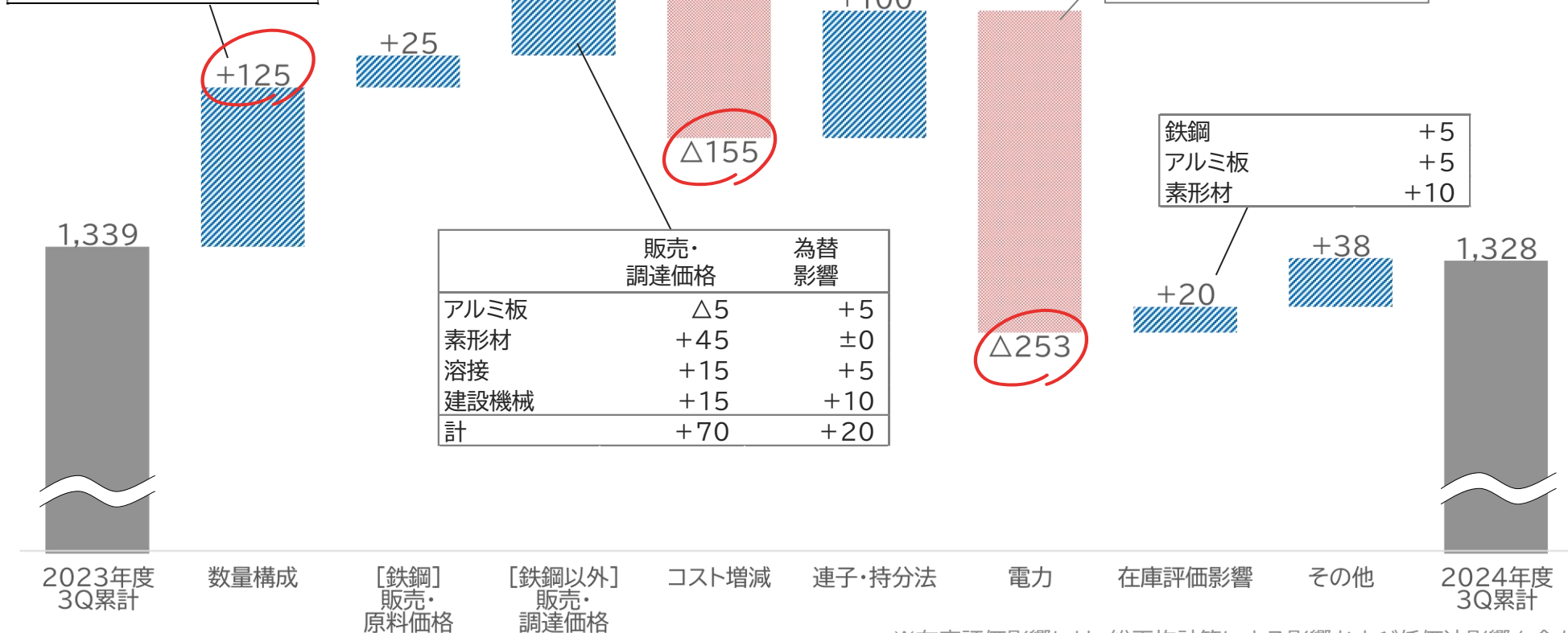
当期純損益

前期計上した子会社での固定資産の譲渡益が剥落したこともあり、減益

2024年度 第3四半期業績: 経常損益 前年同期比

△10億円

鉄鋼	△10
アルミ板	+35
素形材	+10
溶接	△20
機械	+65
エンジニアリング	+20
建設機械	+25



※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

2024年度 第3四半期業績:経常損益 各セグメントの状況

	2023 3Q累計	2024 3Q累計	差異	
鉄鋼	325	289	△ 35	メタルスプレッドの改善や海外関係会社の業績改善等があったものの、労務費・保全費等の固定費を中心としたコストアップにより、減益
在庫評価影響を除く	360	319	△ 40	
アルミ板	△ 59	△ 25	+ 33	主にディスク材の販売数量の増加により、改善
在庫評価影響を除く	△ 79	△ 50	+ 28	
素形材	6	76	+ 69	自動車向け販売数量の増加や価格転嫁の進展等により、増益
在庫評価影響を除く	△ 13	46	+ 59	
溶接	33	31	△ 1	建築・自動車向けを中心に販売数量が減少したものの、価格転嫁が進展したこと等により、前年同期並み
機械	181	218	+ 36	圧縮機を中心としたサービス売上の増加等により、増益
エンジニアリング	116	139	+ 22	案件構成差等により、増益
建設機械	95	216	+ 120	固定費を中心としたコストアップがあるものの、価格転嫁の進展やエンジン認証問題に関する補償金収入の計上等により、増益
電力	635	381	△ 253	燃料費調整の時期ずれによる増益影響の縮小等により、減益

2024年度 業績見通し

(単位:億円)	2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)			増減 ②-①
	上期	下期	通期 ①	上期	下期	通期 ②	
売上高	12,485	13,514	26,000	12,485	13,314	25,800	△200
営業損益	777	622	1,400	777	722	1,500	+100
経常損益	709	590	1,300	709	690	1,400	+100
在庫評価影響を除く	669	615	1,285	669	725	1,395	+110
特別損益	53	146	200	53	96	150	△50
親会社株主に帰属する 当期純損益	565	634	1,200	565	734	1,300	+100

売上高

素形材・建設機械での販売数量の減少や、機械での売上計上時期のずれ等を見込むものの、前回並みの見通し

経常損益

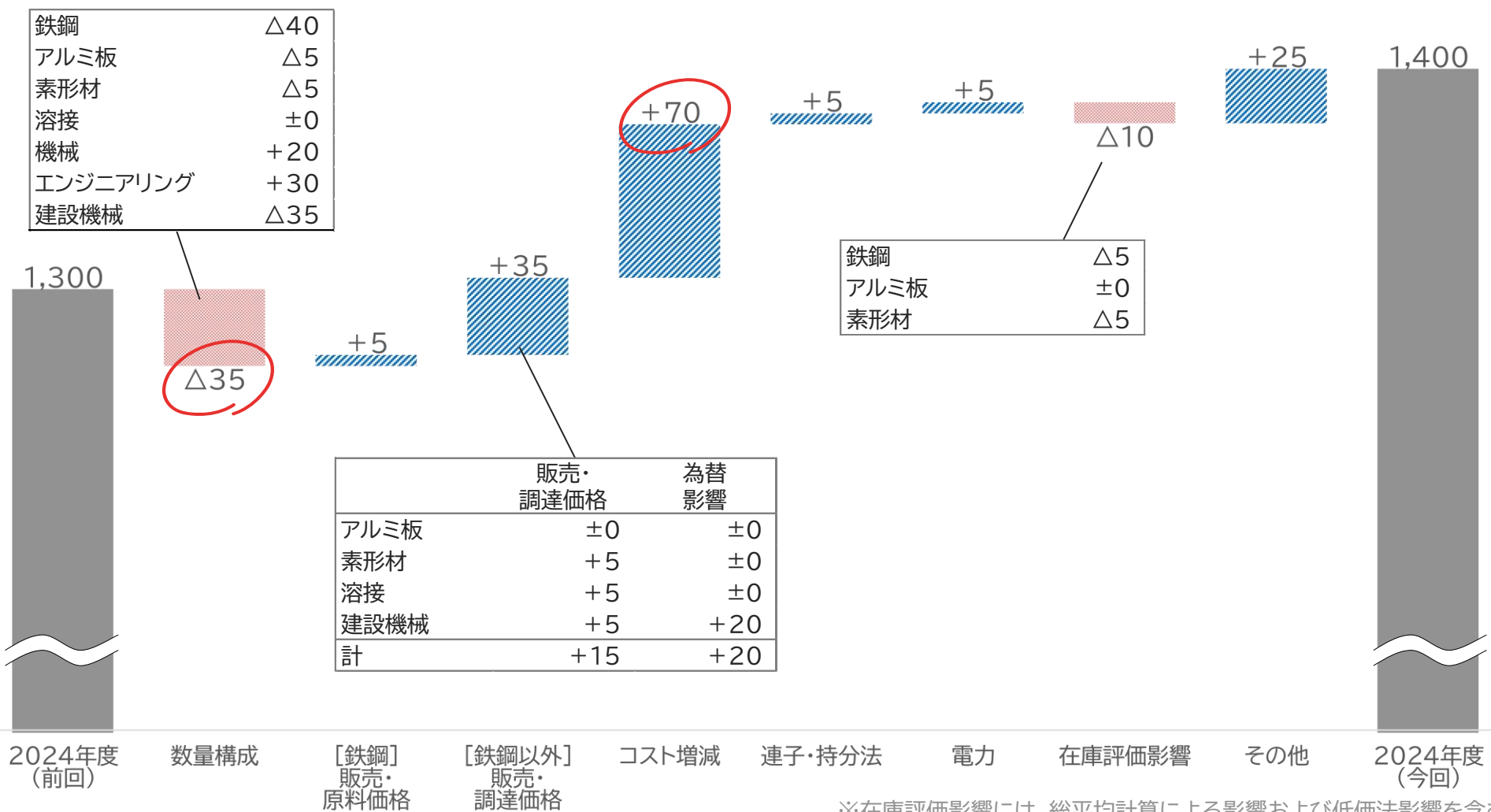
素材系事業・建設機械で販売数量の減少を見込むものの、機械・エンジニアリングでの受注採算の改善に加えて、価格転嫁の進展や固定費を中心としたコスト改善等により、増益の見通し

当期純損益

特別損益にて、資産売却の時期ずれ等が生じたものの、増益の見通し

2024年度 業績見通し: 経常損益 前回比

+100億円



鉄鋼	Δ40
アルミ板	Δ5
素形材	Δ5
溶接	±0
機械	+20
エンジニアリング	+30
建設機械	Δ35

鉄鋼	Δ5
アルミ板	±0
素形材	Δ5

	販売・調達価格	為替影響
アルミ板	±0	±0
素形材	+5	±0
溶接	+5	±0
建設機械	+5	+20
計	+15	+20

※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

2024年度 業績見通し: 経常損益 各セグメントの状況

	2024 前回	2024 今回	差異	
鉄鋼	220	225	+ 5	自動車需要の減少等による販売構成の悪化を見込むものの、固定費を中心としたコスト改善等により、増益の見通し
在庫評価影響を除く	250	260	+ 10	
アルミ板	△ 20	△ 25	△ 5	自動車向け販売数量の減少等により、減益の見通し
在庫評価影響を除く	△ 40	△ 45	△ 5	
素形材	50	80	+ 30	自動車・半導体を中心に販売数量の減少を見込むものの、価格転嫁の進展やコスト改善等により、増益の見通し
在庫評価影響を除く	25	60	+ 35	
溶接	40	45	+ 5	溶接システムにおける価格転嫁の浸透等により、増益の見通し
機械	330	330	±0	受注採算の改善がある一方、一過性のコスト増加もあり、前回並みの見通し
エンジニアリング	110	140	+ 30	個別案件の採算改善等により、増益の見通し
建設機械	120	160	+ 40	欧州を中心に販売台数の減少を見込む一方、円安による輸出採算の改善等により、増益の見通し
電力	495	500	+ 5	前回並みの見通し

- “固定資産売却益”、“負ののれん発生益”、“解体撤去関連費用”の発生を見込む
- 特別損益合計では、資産売却の時期ずれ等が生じたことにより、前回比△50億円減益の見通し

特別損益の内訳

(単位:億円)

	3Q累計	2024 今回	主な内訳
固定資産 売却益等	54	100	<ul style="list-style-type: none"> 上期:建設機械・中国子会社での土地使用権の譲渡益を計上済み 下期:海外での土地の譲渡益を見込む
負ののれん 発生益等	29 ※	150	<ul style="list-style-type: none"> 10月31日付けの関西熱化学(株)の連結子会社化に伴う”負ののれん”発生による利益等 現時点で入手可能な情報に基づき暫定的に算定しており、年度決算時に確定する予定
解体撤去 関連費用	—	△100	<ul style="list-style-type: none"> 将来のカーボンニュートラル対応に向けた用地確保を目的として、2025年度より、老朽化した対象設備の解体工事に着手予定 (対象設備:加古川製鉄所・第1高炉(休止済み)他)
特別損益	84	150	…前回公表 200(前回比△50)

※ 現時点で時価評価が未了のため、帳簿価額を時価とみなして負ののれんの金額を算定している

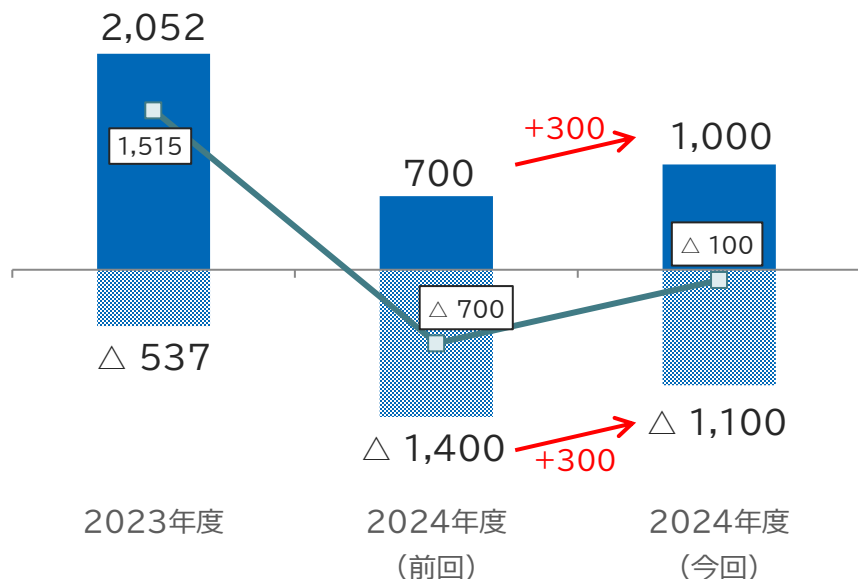
2024年度 業績見通し: キャッシュフローの状況

- 営業キャッシュフローは、経常損益の改善に加え、個別案件での入金時期ずれ影響等により増加
投資キャッシュフローは、投資計画の見直し等により減少したため、フリーキャッシュフローは前回比+600億円改善の見通し
- 引き続き、運転資本の適正化に取り組み、キャッシュフローの改善に努める
- 有利子負債残高は、フリーキャッシュフローの改善に加え、現預金の圧縮等により、前回比900億円減少し、グロスD/Eレシオは0.8倍程度となる見込み

キャッシュフロー

■ 営業キャッシュフロー ■ 投資キャッシュフロー □ フリーキャッシュフロー

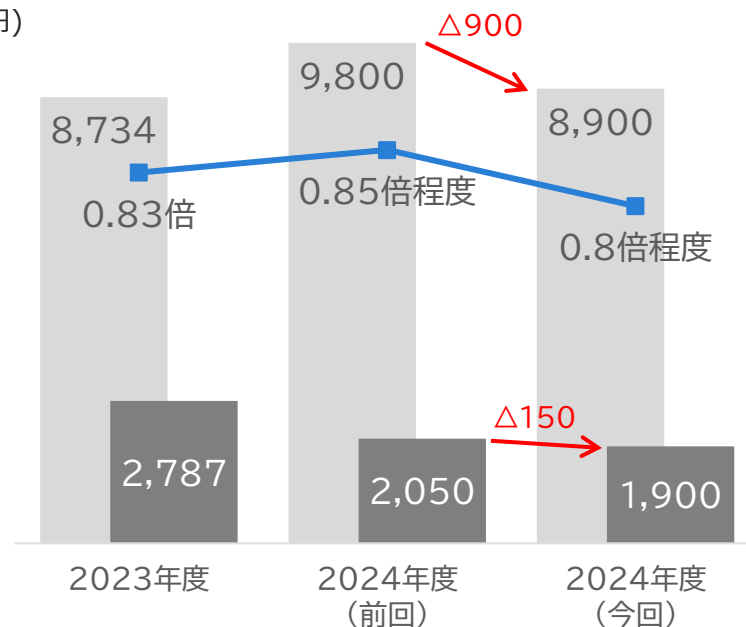
(億円)



グロスD/Eレシオ

■ 有利子負債残高(リース含む) ■ 現預金残高 ■ グロスD/Eレシオ

(億円)



期末配当は1株につき前年・前回は+10円増配の55円(年間100円)とする方針

還元方針 継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、財政状態、業績の動向、先行きの資金需要等を総合的に考慮して決定

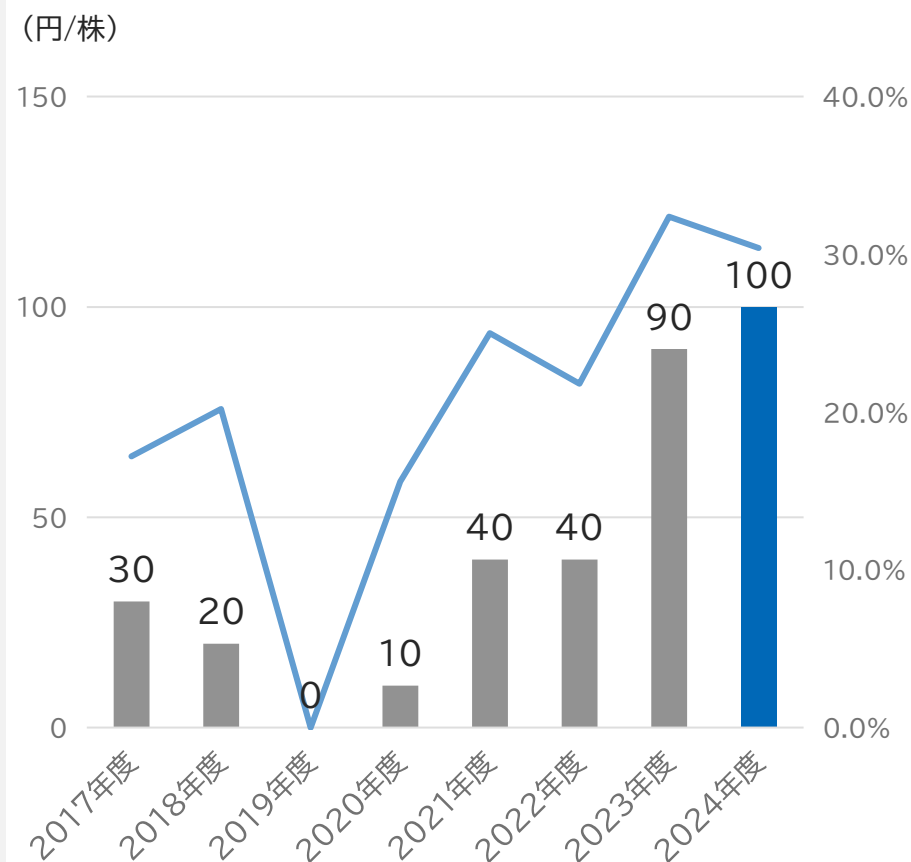
中期経営計画(2024~2026年度)

配当性向 30%程度

配当金額(円/株)
配当性向(%)

2023年度		2024年度	
中間	期末	中間	期末(方針)
45円	45円	45円	55円
90円		100円	
32.4%		30.3%	

配当金額・配当性向



セグメント情報

2024年度第3四半期業績・2024年度業績見通し

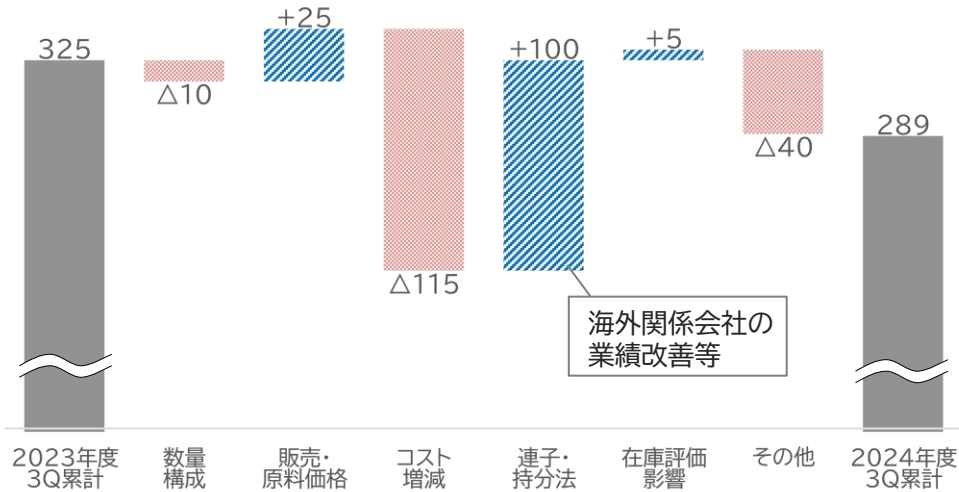


(単位:億円)

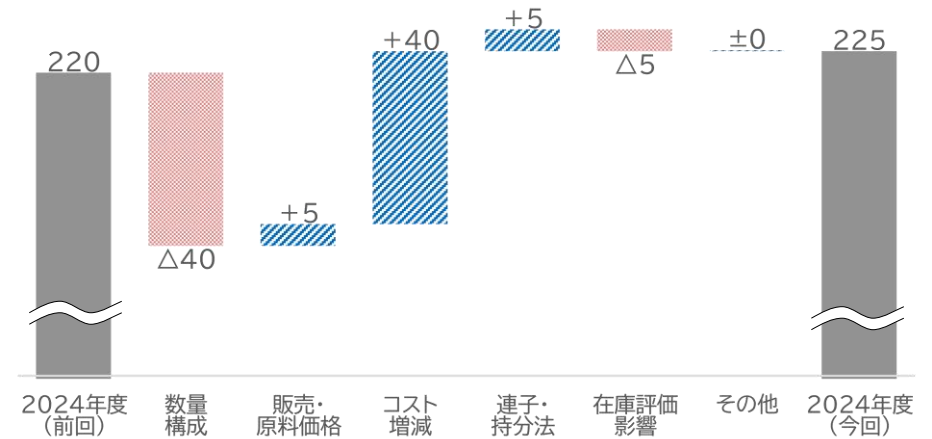
	2023年度		2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)					2024年度 3Q累計	前回比 通期 ②-①
	3Q累計	通期	上期	下期	通期 ①	上期	3Q	4Q	下期	通期 ②		
鉄鋼アルミ	8,128	10,827	5,604	5,625	11,230	5,604	2,852	2,812	5,665	11,270	8,457	+40
素形材	2,184	2,981	1,529	1,760	3,290	1,529	808	892	1,700	3,230	2,337	△60
溶接	701	935	468	471	940	468	230	240	471	940	699	±0
機械	1,570	2,345	1,200	1,559	2,760	1,200	607	891	1,499	2,700	1,808	△60
エンジニアリング	1,178	1,706	653	1,176	1,830	653	459	687	1,146	1,800	1,112	△30
建設機械	3,044	4,040	1,975	1,964	3,940	1,975	964	910	1,874	3,850	2,939	△90
電力	2,339	3,159	1,336	1,293	2,630	1,336	572	721	1,293	2,630	1,908	±0
その他	72	108	37	62	100	37	28	14	42	80	65	△20
調整額	△482	△671	△319	△400	△720	△319	△168	△211	△380	△700	△488	+20
売上高	18,737	25,431	12,485	13,514	26,000	12,485	6,354	6,959	13,314	25,800	18,840	△200
営業損益	1,382	1,866	777	622	1,400	777	468	254	722	1,500	1,245	+100
鉄鋼アルミ	266	161	144	55	200	144	119	△64	55	200	264	±0
素形材	6	32	23	26	50	23	53	3	56	80	76	+30
溶接	33	49	21	18	40	21	10	13	23	45	31	+5
機械	181	296	123	206	330	123	95	111	206	330	218	±0
エンジニアリング	116	124	46	63	110	46	92	0	93	140	139	+30
建設機械	95	91	61	58	120	61	154	△56	98	160	216	+40
電力	635	857	292	202	495	292	88	118	207	500	381	+5
その他	29	48	20	24	45	20	12	7	19	40	32	△5
調整額	△26	△51	△23	△66	△90	△23	△8	△62	△71	△95	△32	△5
経常損益	1,339	1,609	709	590	1,300	709	619	71	690	1,400	1,328	+100
在庫評価影響を除く	1,334	1,564	669	615	1,285	669	634	91	725	1,395	1,303	+110
特別損益	278	13	53	146	200	53	30	65	96	150	84	△50
親会社株主に帰属する 当期純損益	1,097	1,095	565	634	1,200	565	462	271	734	1,300	1,028	+100

	2023年度		2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)					2024年度	前回比	
	3Q累計	通期	上期	下期	通期 ①	上期	3Q	4Q	下期	通期 ②	3Q累計	通期 ②-①	
(単位:億円)													
売上高	6,691	8,916	4,616	4,523	9,140	4,616	2,338	2,275	4,613	9,230	6,954	+90	
経常損益	325	392	188	31	220	188	101	△64	36	225	289	+5	
在庫評価影響を除く	360	402	163	86	250	163	156	△59	96	260	319	+10	
粗鋼生産量(高砂含む)	[万t]	447	597	301	299	600	301	152	147	299	600	453	±0
鋼材 販売数量(単体)	[万t]	359	469	234	236	470	234	122	114	236	470	356	±0
(国内)		279	366	179			179	94				273	
(輸出)		80	104	55			55	28				83	
(輸出比率)		22%	22%	24%			24%	22%				23%	
鋼材 販売単価	[千円/t]	142	143	148			148	144				147	

2024年度 第3四半期業績 (前年同期比)



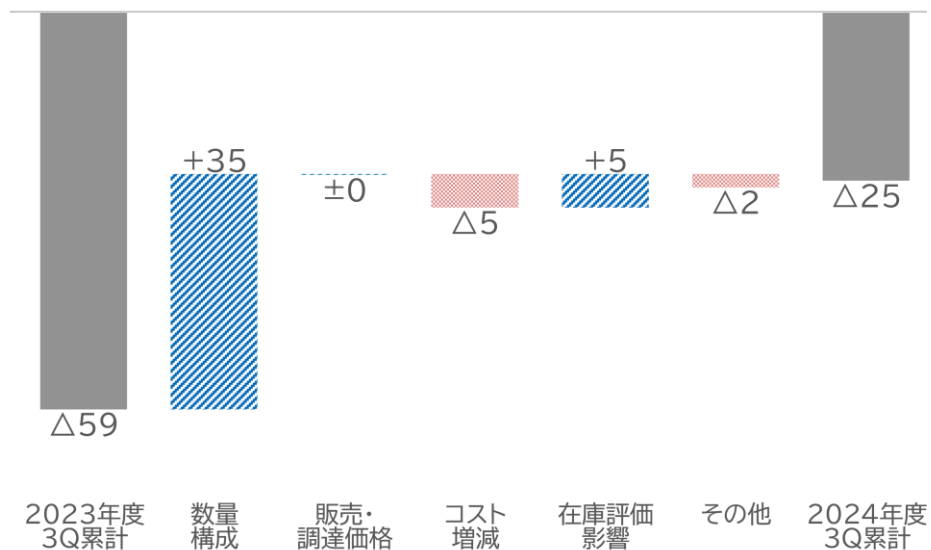
2024年度 業績見通し (前回比)



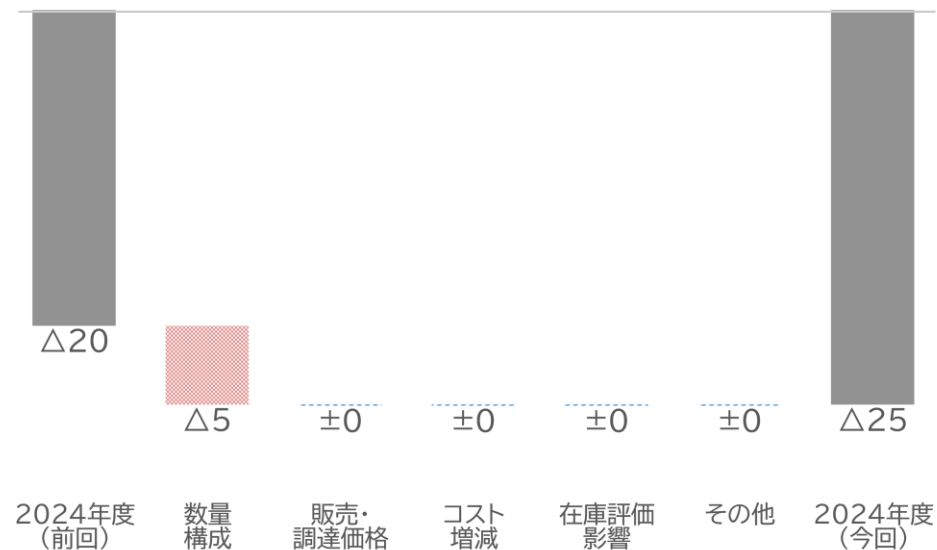
※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

	2023年度		2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)					2024年度	前回比
	3Q累計	通期	上期	下期	通期 ①	上期	3Q	4Q	下期	通期 ②	3Q累計	通期 ②-①
(単位:億円)												
売上高	1,436	1,911	988	1,101	2,090	988	514	536	1,051	2,040	1,503	△50
経常損益	△59	△231	△43	23	△20	△43	17	0	18	△25	△25	△5
在庫評価影響を除く	△79	△251	△43	3	△40	△43	△7	5	△1	△45	△50	△5
アルミ板 販売数量(連結)	[千t] 238	314	154	176	330	154	76	84	161	315	231	△15
(国内)	172	223	110			110	54				163	
(海外)	67	91	44			44	23				67	

2024年度 第3四半期業績 (前年同期比)



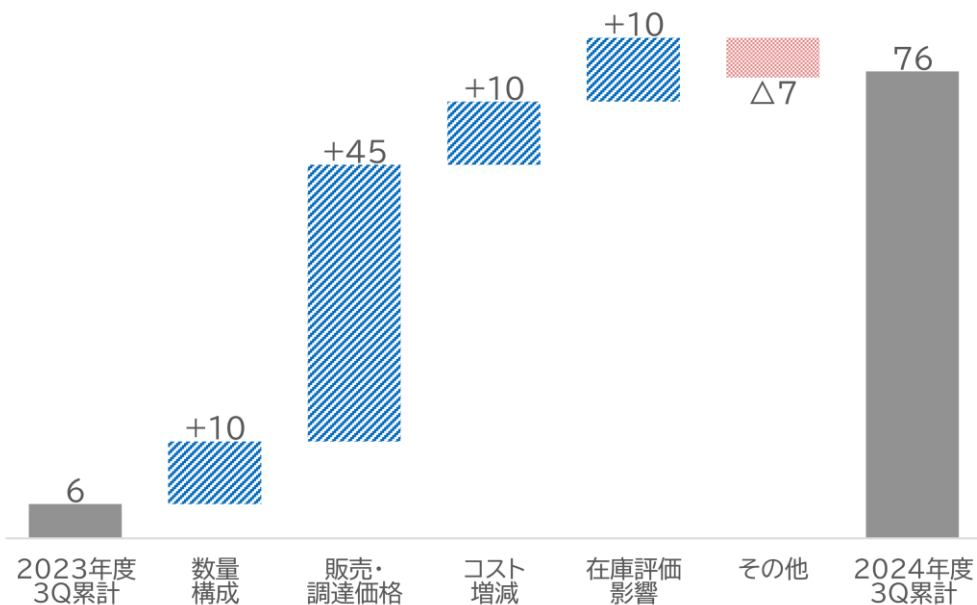
2024年度 業績見通し (前回比)



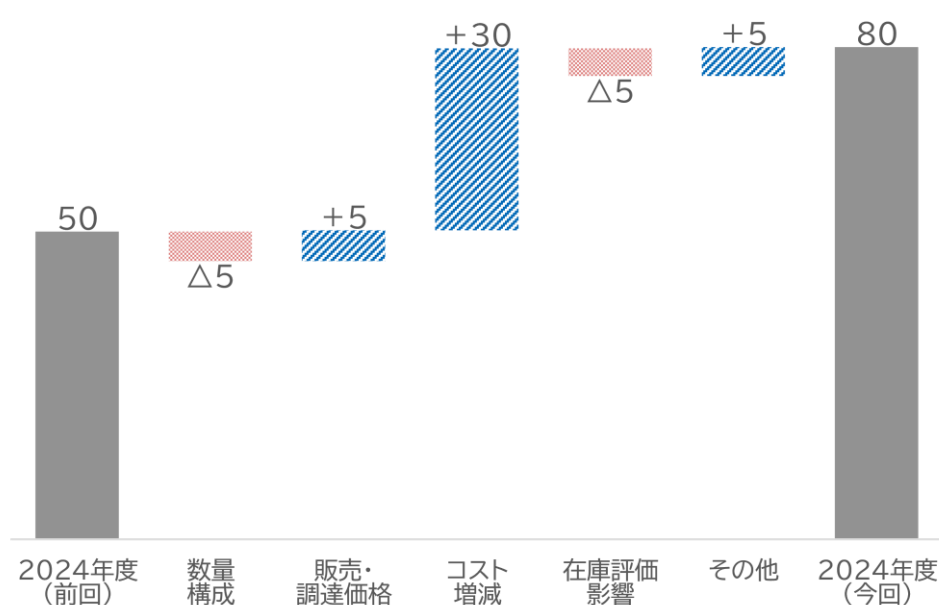
※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

	2023年度		2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)					2024年度	前回比
	3Q累計	通期	上期	下期	通期 ①	上期	3Q	4Q	下期	通期 ②	3Q累計	通期 ②-①
(単位:億円)												
売上高	2,184	2,981	1,529	1,760	3,290	1,529	808	892	1,700	3,230	2,337	△60
経常損益	6	32	23	26	50	23	53	3	56	80	76	+30
在庫評価影響を除く	△13	△3	8	16	25	8	38	13	51	60	46	+35
アルミ押出 販売数量 (連結) [千t]	28	37	19	20	39	19	10	9	19	38	29	△1
(国内)	21	29	15			15	8				22	
(海外)	7	9	4			4	2				6	
銅板 販売数量 (単体) [千t]	38	52	26	29	55	26	14	14	28	54	40	△1

2024年度 第3四半期業績 (前年同期比)



2024年度 業績見通し (前回比)



※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

	2023年度		2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)					2024年度	前回比
	3Q累計	通期	上期	下期	通期 ①	上期	3Q	4Q	下期	通期 ②	3Q累計	②-①
(単位:億円)												
売上高	701	935	468	471	940	468	230	240	471	940	699	±0
経常損益	33	49	21	18	40	21	10	13	23	45	31	+5
溶接材料 販売数量 (連結)	[千t]											
	179	242	112	113	225	112	56	57	113	225	168	±0
(国内)	78	105	48			48	22				70	
(海外)	101	136	64			64	34				98	

2024年度 第3四半期業績 (前年同期比)

数量 国内:建築・自動車の需要減により、減少
海外:東南アジアでの景気低迷により、減少

価格 価格転嫁の進展等により上昇

コスト 資機材等でコスト上昇

2024年度 業績見通し (前回比)

数量 国内・海外ともに前回並みの見通し

価格 溶接システムでの価格転嫁の浸透等により
上昇の見通し

コスト 前回並みの見通し

	2023年度		2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)					2024年度	前回比
	3Q累計	通期	上期	下期	通期 ①	上期	3Q	4Q	下期	通期 ②	3Q累計	通期 ②-①
(単位:億円)												
売上高	1,570	2,345	1,200	1,559	2,760	1,200	607	891	1,499	2,700	1,808	△60
経常損益	181	296	123	206	330	123	95	111	206	330	218	±0
受注高	1,798	2,737	1,193	1,406	2,600	1,193	580	876	1,456	2,650	1,773	+50
受注残高	2,329	2,518	2,522			2,522	2,456					

2024年度 第3四半期業績 (前年同期比)

受注高 前年同期並み

経常損益 圧縮機を中心としたサービス売上の増加や受注案件の進捗等により、増益

2024年度 業績見通し (前回比)

受注高 エネルギー・化学向けを中心とした好調な受注や、サービス案件の増加等により、増加の見通し

経常損益 受注採算の改善がある一方、一過性のコスト増加もあり、前回並みの見通し

(単位:億円)	2023年度		2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)					2024年度	前回比
	3Q累計	通期	上期	下期	通期 ①	上期	3Q	4Q	下期	通期 ②	3Q累計	通期 ②-①
売上高	1,178	1,706	653	1,176	1,830	653	459	687	1,146	1,800	1,112	△30
経常損益	116	124	46	63	110	46	92	0	93	140	139	+30
受注高	1,435	2,143	595	1,204	1,800	595	229	725	954	1,550	824	△250
受注残高	4,250	4,336	4,431			4,431	4,111					

2024年度 第3四半期業績 (前年同期比)

受注高 還元鉄関連事業や廃棄物処理関連事業において大型案件を受注した前年同期と比べると、減少

経常損益 案件構成差等により、増益

2024年度 業績見通し (前回比)

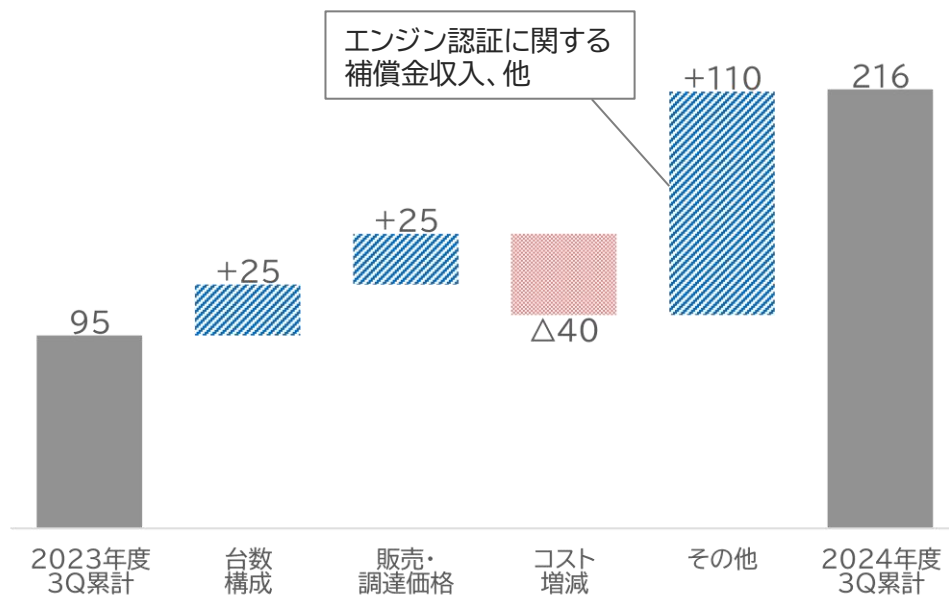
受注高 還元鉄関連事業での海外大型案件の時期ずれ等により、減少の見通し

経常損益 個別案件の採算改善等により、増益の見通し

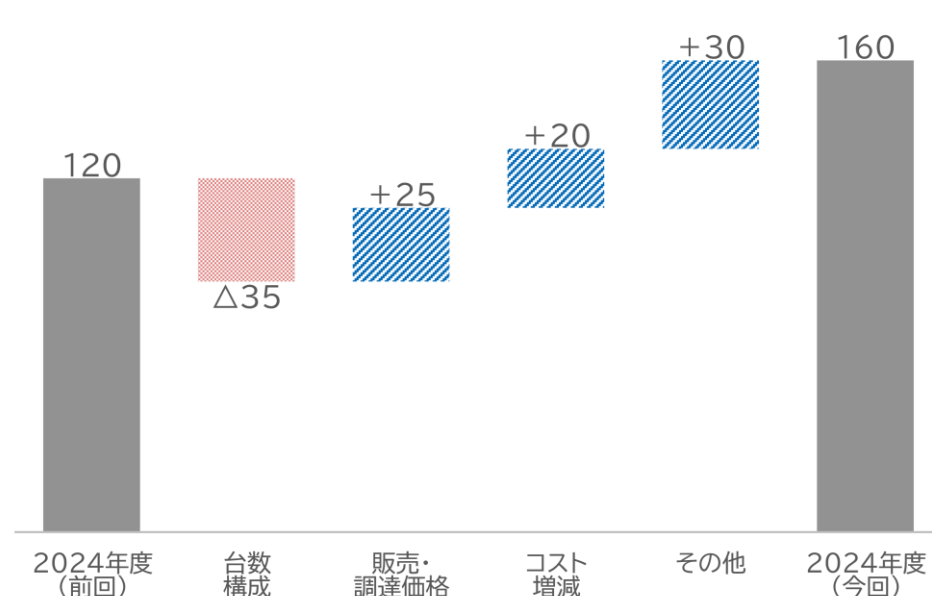
	2023年度		2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)					2024年度	前回比
	3Q累計	通期	上期	下期	通期 ①	上期	3Q	4Q	下期	通期 ②	3Q累計	通期 ②-①
(単位:億円)												
売上高	3,044	4,040	1,975	1,964	3,940	1,975	964	910	1,874	3,850	2,939	△90
経常損益	95	91	61	58	120	61	154	△56	98	160	216	+40
油圧ショベル 販売台数(連結) [千台]	18.0	24.1	10.3	12.7	23.0	10.3	5.4	6.2	11.7	22.0	15.8	△1.0
(国内)	5.9	8.1	2.7			2.7	2.1				4.8	
(海外)	12.1	15.9	7.7			7.7	3.3				11.0	
クローラークレーン 販売台数(連結) [台]	221	315	157	213	370	157	100	113	213	370	257	±0

※1: ミニショベルを含む

2024年度 第3四半期業績 (前年同期比)



2024年度 業績見通し (前回比)



(単位:億円)	2023年度		2024年度見通し(前回)			2024年度見通し(今回)					2024年度	前回比
	3Q累計	通期	上期	下期	通期 ①	上期	3Q	4Q	下期	通期 ②	3Q累計	②-①
売上高	2,339	3,159	1,336	1,293	2,630	1,336	572	721	1,293	2,630	1,908	±0
経常損益	635	857	292	202	495	292	88	118	207	500	381	+5
燃料費調整の時期ずれ	170	220	40	0	40	40	0	0	0	40	40	±0
売電価格に関する一過性の損益影響	140	200	20	0	20	20	0	0	0	20	20	±0

2024年度 第3四半期業績 (前年同期比)

販売電力量 前年同期比で減少

販売単価 石炭価格の変動により、下落

経常損益 燃料費調整の時期ずれによる増益影響の縮小等により、減益

2024年度 業績見通し (前回比)

販売電力量 前回並みの見通し

販売単価 前回並みの見通し

経常損益 前回並みの見通し

参考資料

	2023年度実績		2024年度(前回)			2024年度(今回)					2024年度
	3Q累計	通期	上期	下期	通期	上期	3Q	4Q	下期	通期	3Q累計
USドル (円/\$)	143.8	145.3	152.4	145.0	148.7	152.4	154.2	150.0	152.1	152.3	153.0
中国元 (円/元)	20.0	20.2	21.2	20.0	20.6	21.2	21.3	21.0	21.2	21.2	21.2
ユーロ (円/€)	156.2	157.7	165.8	155.0	160.4	165.8	163.6	160.0	161.8	163.8	165.1

【為替の感応度分析】

USドル1円 円安に伴う今後の業績影響

鉄鋼 : 概ね影響なし(ドルバランスの影響△1億円、在庫評価影響・販売価格への転嫁等+1億円)

建設機械: 概ね影響なし

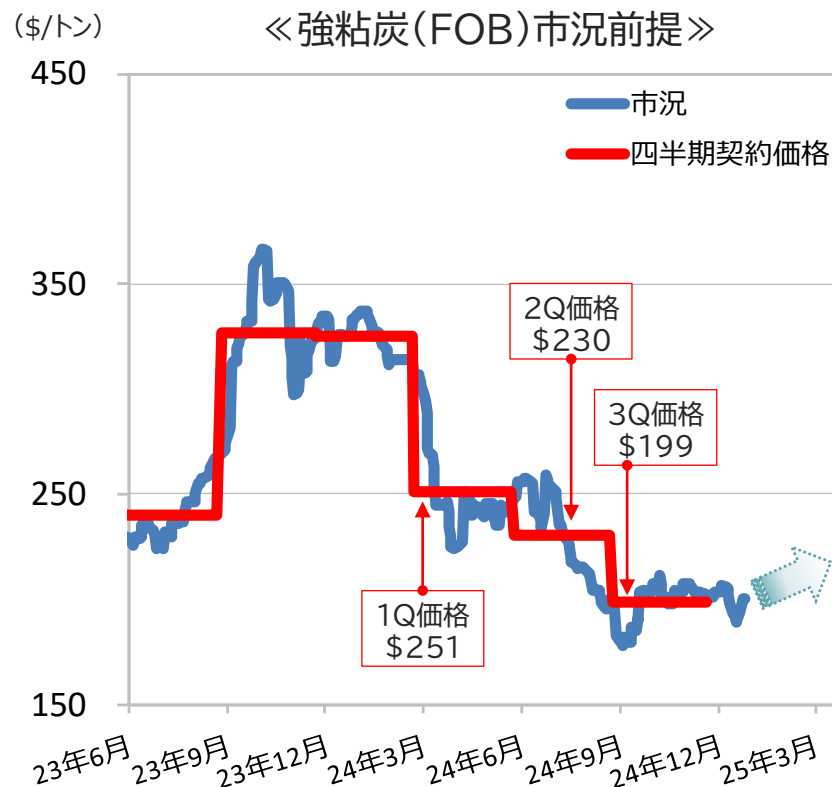
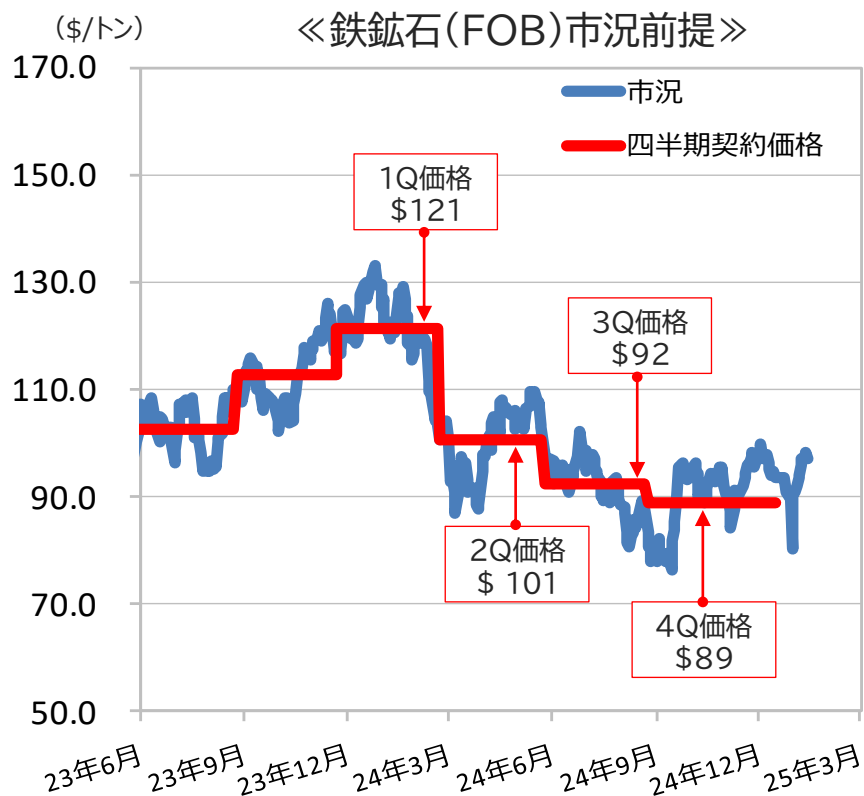
ユーロ1円 円安に伴う今後の業績影響

建設機械: 概ね影響なし

鉄鉱石 4Q価格は\$89で決着済み

強粘炭 3Q価格は\$199で決着済み。4Q価格は3Q価格から一定程度の上昇を想定

一般炭 10月の\$150前後をピークに下落基調へと転じ、12月は\$120～\$140前後で推移
4Q価格は12月の市況をベースに想定



在庫評価影響

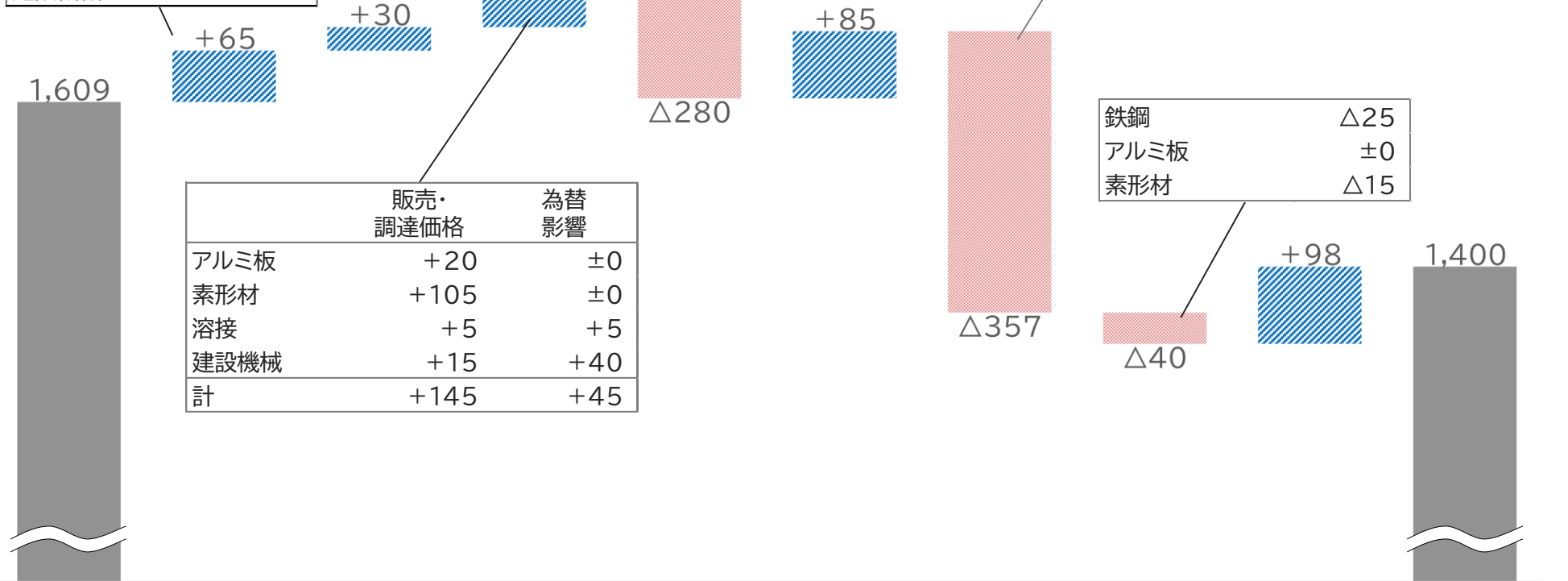
(単位: 億円)

	2023年度		2024年度(前回)			2024年度(今回)					2024年度
	3Q累計	通期	上期	下期	通期	上期	3Q	4Q	下期	通期	3Q累計
鉄鋼											
鉄鉱石	20	35	△15	△20	△35	△15	△15	△10	△25	△40	△30
石炭	5	5	△25	5	△20	△25	△10	5	△5	△30	△35
キャリアオーバー	25	40	△40	△15	△55	△40	△25	△5	△30	△70	△65
総平均	△40	△10	35	△65	△30	35	△50	0	△50	△15	△15
低価法	5	0	△10	10	0	△10	△5	△5	△10	△20	△15
在庫評価影響	△35	△10	25	△55	△30	25	△55	△5	△60	△35	△30
アルミ板											
	2023年度		2024年度(前回)			2024年度(今回)					2024年度
	3Q累計	通期	上期	下期	通期	上期	3Q	4Q	下期	通期	3Q累計
総平均	15	15	△5	20	15	△5	25	△5	20	15	20
低価法	5	5	5	0	5	5	0	0	0	5	5
在庫評価影響	20	20	0	20	20	0	25	△5	20	20	25
素形材											
	2023年度		2024年度(前回)			2024年度(今回)					2024年度
	3Q累計	通期	上期	下期	通期	上期	3Q	4Q	下期	通期	3Q累計
総平均	20	35	25	5	30	25	15	△10	5	30	40
低価法	0	0	△10	5	△5	△10	0	0	0	△10	△10
在庫評価影響	20	35	15	10	25	15	15	△10	5	20	30

2024年度 業績見通し: 経常損益 2023年度比

△209億円

鉄鋼	△25
アルミ板	+45
素形材	+10
溶接	△10
機械	+75
エンジニアリング	+5
建設機械	△35



	販売・ 調達価格	為替 影響
アルミ板	+20	±0
素形材	+105	±0
溶接	+5	+5
建設機械	+15	+40
計	+145	+45

・燃料費調整の時期ずれ影響 △180
 ・売電価格に関する一過性の増益影響 △180、他

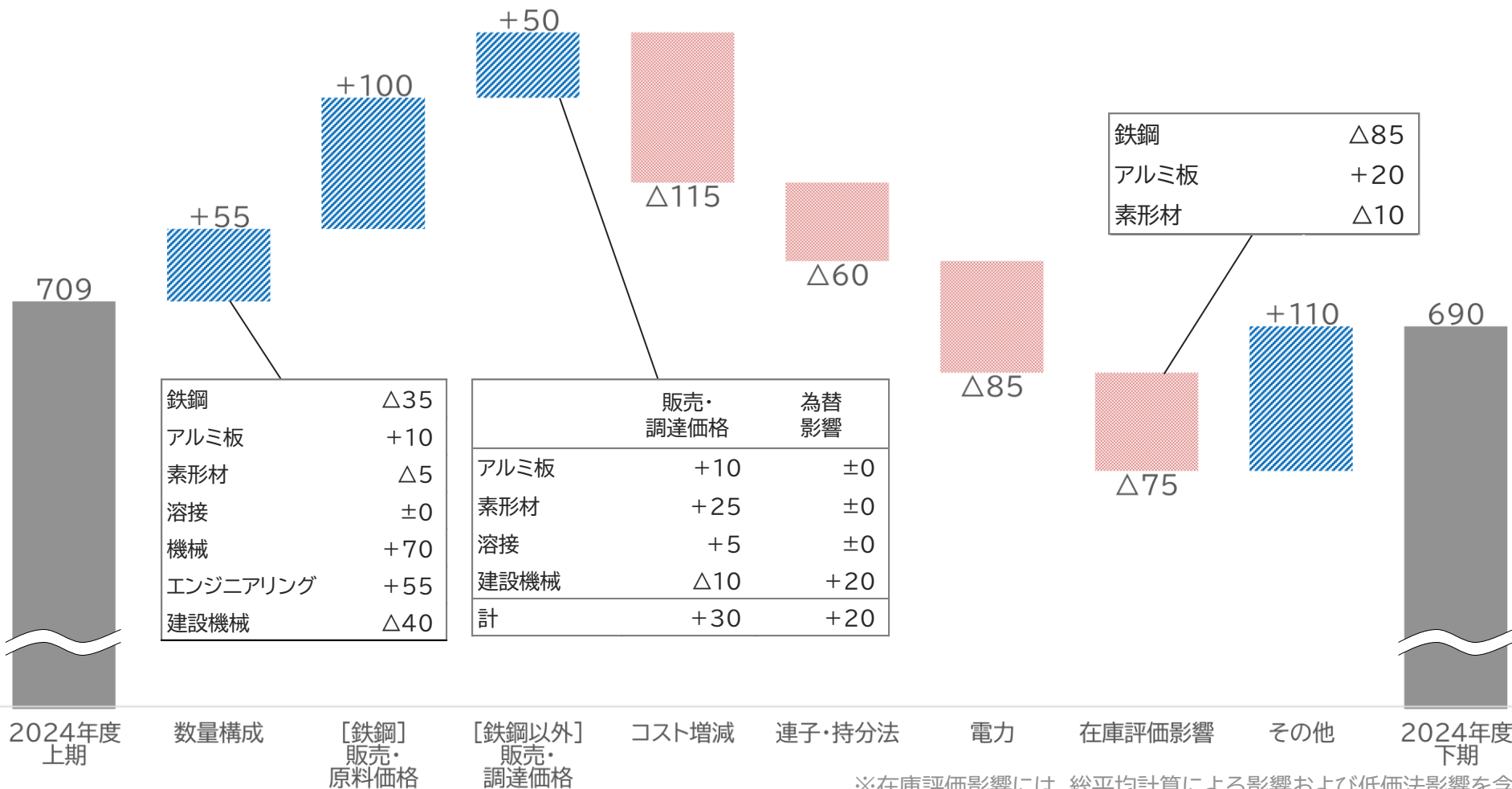
鉄鋼	△25
アルミ板	±0
素形材	△15

2023年度 数量構成 [鉄鋼] 販売・原料価格 [鉄鋼以外] 販売・調達価格 コスト増減 連子・持分法 電力 在庫評価影響 その他 2024年度 (今回)

※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

2024年度 業績見通し:上期→下期 差異内訳

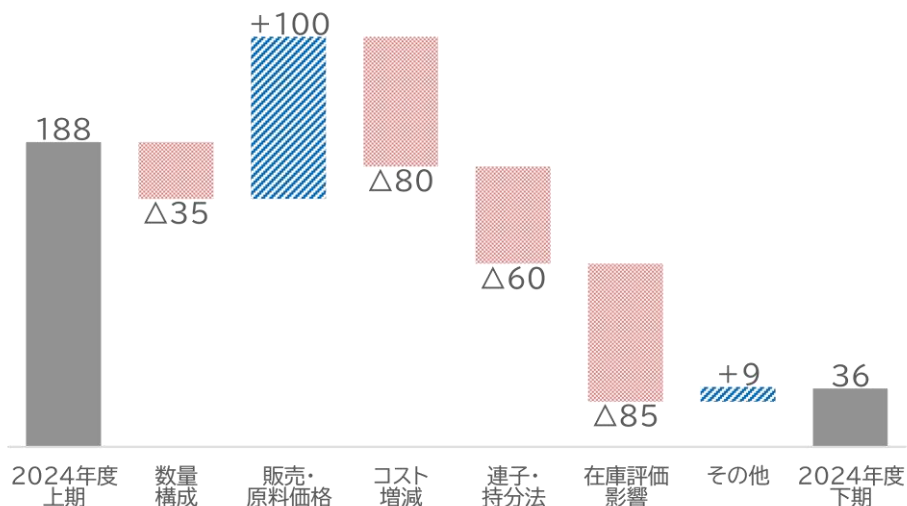
△19億円



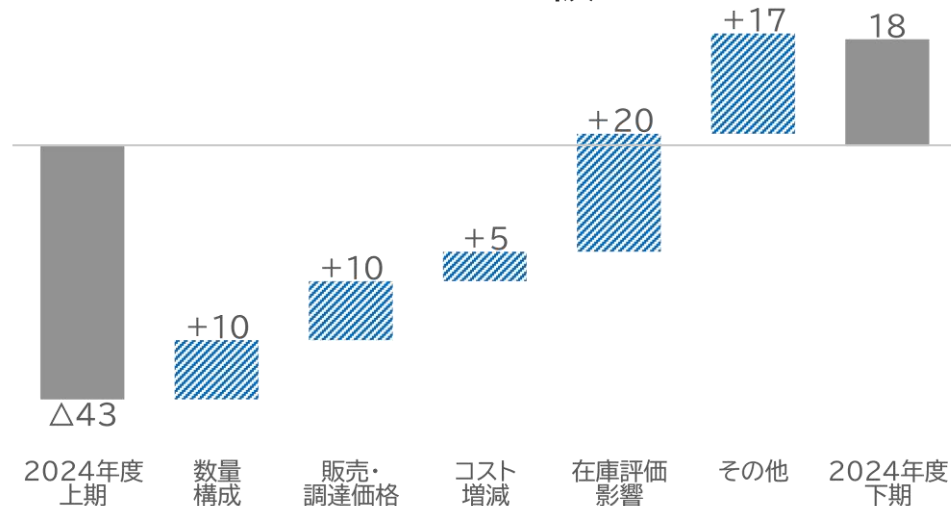
※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

2024年度 業績見通し:上期→下期 差異内訳 主要セグメント

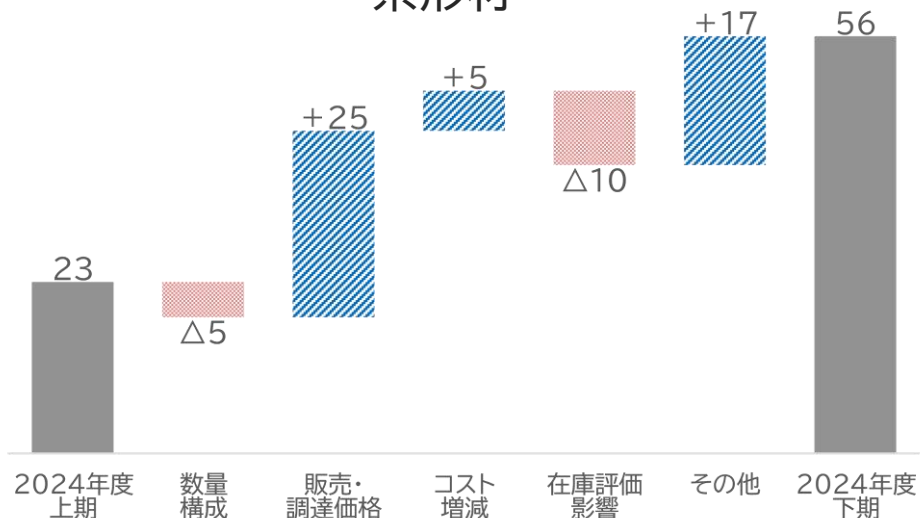
鉄鋼



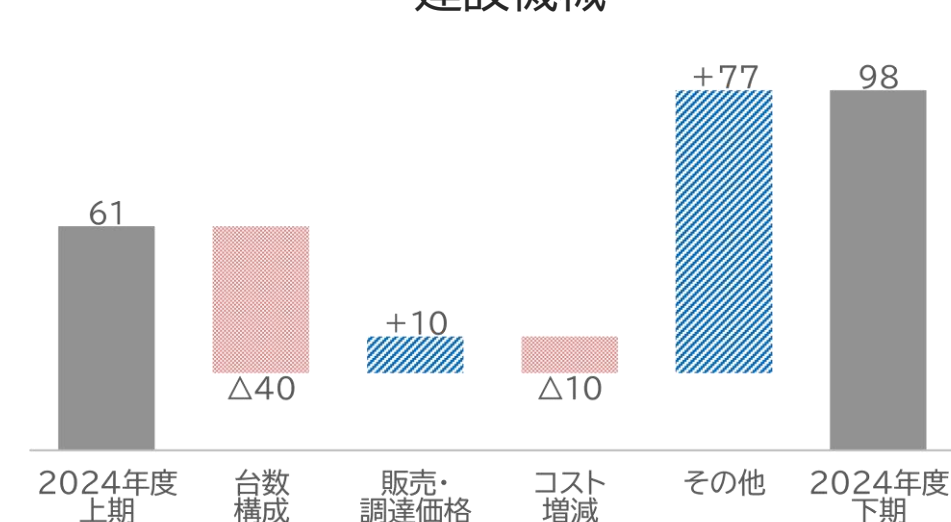
アルミ板



素形材



建設機械



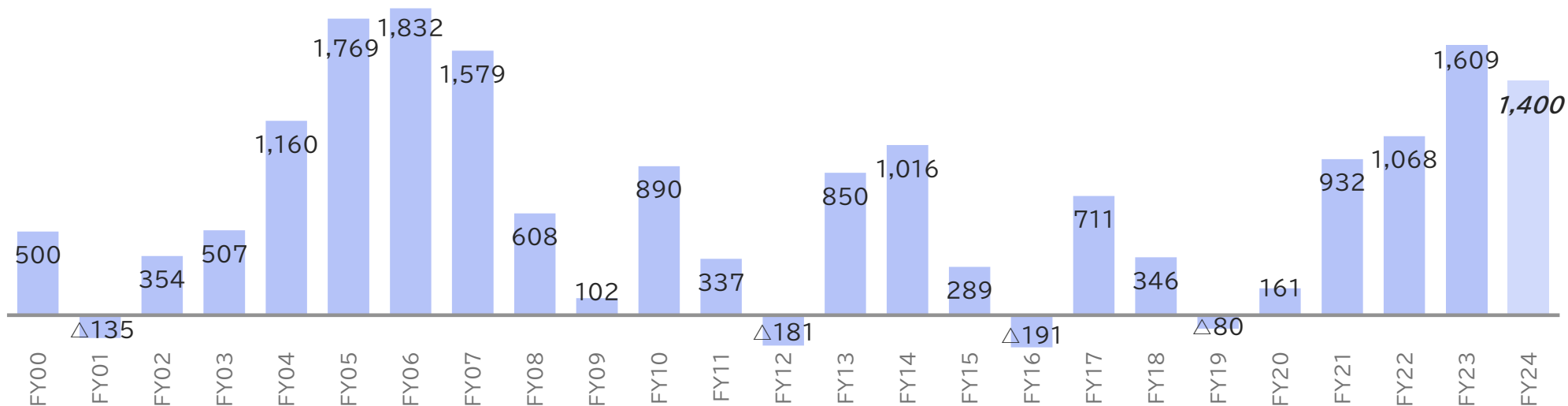
※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

		2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 見通し(前回)	2024年度 見通し(今回)
設備投資	計上	1,081億円	973億円	1,052億円	1,100億円	1,050億円
	支払	1,564億円	989億円	948億円	1,200億円	1,150億円
減価償却費		1,051億円	1,125億円	1,190億円	1,200億円	1,200億円
純資産比率		32.0%	34.0%	38.6%	40%程度	40%程度
有利子負債(リース含)		9,738億円	9,172億円	8,734億円	9,800億円	8,900億円
グロスD/Eレシオ ※1		1.19倍	1.00倍	0.83倍	0.85倍程度	0.8倍程度
営業キャッシュフロー		1,688億円	1,196億円	2,052億円	700億円	1,000億円
投資キャッシュフロー		△ 1,615億円	△ 972億円	△ 537億円	△ 1,400億円	△ 1,100億円
フリーキャッシュフロー		72億円	224億円	1,515億円	△ 700億円	△ 100億円
現預金残高		2,605億円	2,033億円	2,787億円	2,050億円	1,900億円
1株当たり当期純損益		160.23円	183.80円	277.38円	304.03円	329.52円
ROE ※2		7.9%	8.4%	11.1%	11%程度	12%程度
ROIC ※3		4.7%	4.9%	6.7%	6%程度	6.5%程度

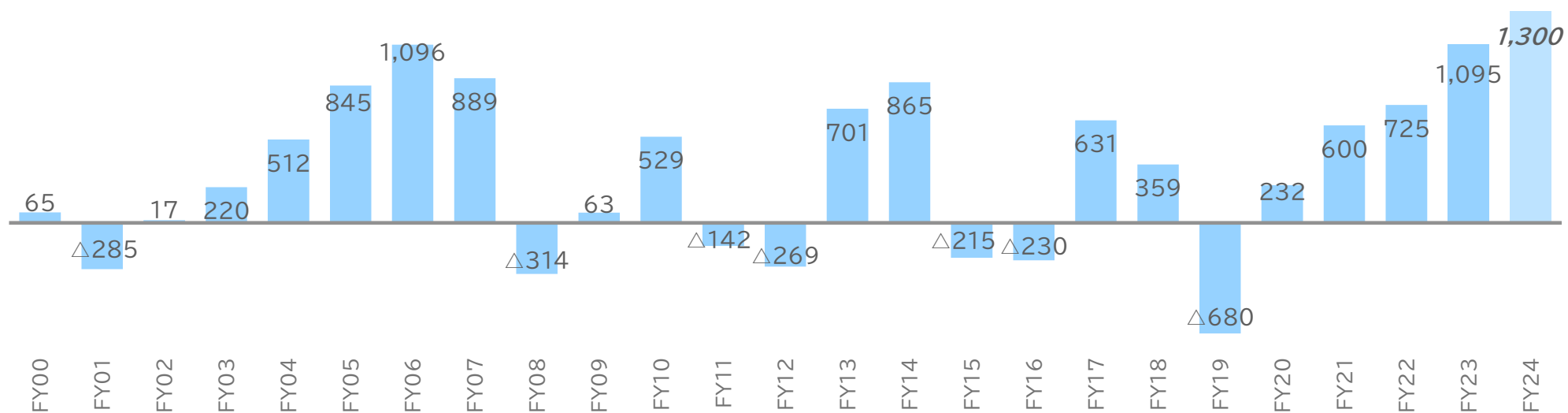
※1:グロスD/Eレシオ=有利子負債(リース含む)/自己資本 ※2:親会社株主に帰属する当期純損益/自己資本 ※3:税引後事業利益/投下資本

(単位：億円)

【経常損益】



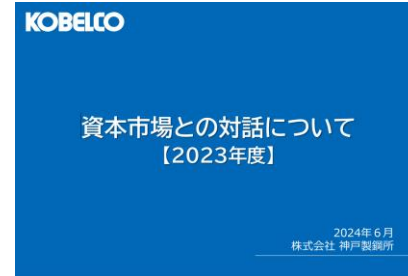
【親会社株主に帰属する当期純損益】



資本市場との対話

当社は持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けて、資本市場との対話を積極的に行っており、その内容をホームページに開示しています。

2023年度版（2024年6月公表）：[capital_markets_23.pdf \(kobelco.co.jp\)](https://www.kobelco.co.jp/capital_markets_23.pdf)



社会からの評価（主なもの）

◆ FTSE4Good Index Series
(2021年6月～)



FTSE4Good

◆ FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
(2022年3月～)



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

◆ FTSE Blossom Japan Index
(2021年6月～)



FTSE Blossom Japan

◆ CDP
(2020年12月～)



「気候変動」で「A-」の評価を
4年連続で獲得

◆ MSCI JAPAN ESG SELECT LEADERS INDEX ※
(2022年6月～)

2024 CONSTITUENT MSCI JAPAN ESG SELECT LEADERS INDEX

◆ MSCI JAPAN EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN) ※
(2022年12月～)

2024 CONSTITUENT MSCI JAPAN EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)

※THE INCLUSION OF KOBE STEEL, LTD. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF KOBE STEEL, LTD. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI.

MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

<p>KOBELCOが 実現したい未来</p>	<p>「KOBELCOの使命・存在意義」の実行を通じて実現したい社会・未来</p> <p>安全・安心で豊かな暮らしの中で、 今と未来の人々が夢や希望を叶えられる世界。</p>								
<p>KOBELCOの 使命・存在意義</p>	<p>KOBELCOグループの社会的存在意義であり、果たすべき使命</p> <p>個性と技術を活かし合い、 社会課題の解決に挑みつづける。</p>								
<p>KOBELCOの 3つの約束</p>	<p>KOBELCOグループの社会に対する約束事であり、グループで共有する価値観</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します 2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます 3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します 								
<p>KOBELCOの 6つの誓い</p>	<p>「KOBELCOの3つの約束」を果たすため、品質憲章とともに全社員が実践する行動規範</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 高い倫理観とプロ意識の徹底</td> <td>3. 働きやすい職場環境の実現</td> </tr> <tr> <td>2. 優れた製品・サービスの提供による社会への貢献</td> <td>4. 地域社会との共生</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5. 環境への貢献</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6. ステークホルダーの尊重</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">品質憲章</p>	1. 高い倫理観とプロ意識の徹底	3. 働きやすい職場環境の実現	2. 優れた製品・サービスの提供による社会への貢献	4. 地域社会との共生		5. 環境への貢献		6. ステークホルダーの尊重
1. 高い倫理観とプロ意識の徹底	3. 働きやすい職場環境の実現								
2. 優れた製品・サービスの提供による社会への貢献	4. 地域社会との共生								
	5. 環境への貢献								
	6. ステークホルダーの尊重								

- 本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略等、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性等様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。

- 上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。
 - ・ 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
 - ・ 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
 - ・ 為替相場の変動
 - ・ 原材料の Availability や市況
 - ・ 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&A等の事業展開
 - ・ 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化